

| | |
|-------------------------------|----|
| 表紙 | 01 |
| キラリびと 高濱莉乃・蓬莱奈央 | 02 |
| 特集 | |
| 暮らしを守る 物価対策 | 04 |
| 市政情報 | 08 |
| TOPICS 第11回「グリーンパーク・アウトドア」 | 10 |
| イベントカレンダー | 14 |
| まちかど PHOTO ★ニュース | 16 |
| くらしお役立ち情報 | 18 |
| わくわく子育て情報 | 25 |
| そうだ！図書館へ行こう | 26 |
| かさい消防ニュース | |
| おくやみ／各種相談 | 27 |
| とびだせ！かさいっ子 | 28 |
| 加西から広めよう世界の輪 みんなで使おう加西弁 | |

KASAI データバンク

R5.4.30 現在 (前月比)
人口 / 42,111 人 (18)
男 / 20,682 人 (8) 女 / 21,429 人 (10)
世帯数 / 18,425 (37)
4月の出生数 / 16 人 死亡数 / 58 人
● 6/14、28 は市民課・国保医療課窓口を延長
(17:15 ~ 19:00)

けとなります。
当時、加西市立図書館で働いていた蓬萊さんは、アステリアかさいに演奏会に来ていた高濱さんとばったり出会います。お互い顔は知っていたものの話したことはなくこの時が初めてでした。「ピアノの旋律とカホンの音色がぶつかり合う演奏は迫力満点。絶対におもしろい」。そう思っていた蓬萊さんは、「一緒に演奏しよう」と声を掛けました。

は合わないといったことも少なくないようですが、2人の場合は、最初から呼吸がぴったりと合いました。すっかり意気投合した2人。ユニット名は、RINOとNAOの名前を組み合わせた「ON AIR」としました。

加西に生の音楽を

「コロナも落ち着き、活動の場が増えてきました。市内の小学校で演奏した時のこと。子どもたちの「学校に」カホンを買ってほしい」「ピアノをうまく弾けるようになりたい」といった声を聞いて、「興味を持ってきてくれたらいいな」と呼びかけました。

【ON AIR 出演情報】

| | |
|----------|--|
| 6/14 (水) | 広報誌コラボ企画 市役所ミニコンサート (場所: 市役所 1階エントランスホール 時間: 17:30 ~) |
| 6/30 (金) | お昼のミニコンサート (場所: アステリアかさい3階 時間: 12:10 ~) |

キラリびと vol.26



高濱莉乃 / Rino Takahama
平成7年生まれ。京都市立芸術大学(ピアノ専攻)卒業後、同大学大学院でロシアピアノリズムを研究。自身のピアノ教室 Brillante や神戸・元町でピアノ講師をしている。



蓬莱奈央 / Nao Horai
平成8年生まれ。同志社女子大学(管弦打楽器コース)卒業後、同大学音楽専攻科修了。打楽器を専門とし、小太鼓やマリンバなどを演奏している。中学・高校の吹奏楽指導、小学校の器楽合奏の指導にも取り組む。



夢に向かってクレッシェンド

加西市民会館に到着すると、中から重厚で聴き応え抜群の音楽が聞こえてきました。「情熱大陸」のテーマソングです。「リズムカールで楽しみながら演奏できる好きな曲のひとつなんです」と笑顔で教えてくれました。コンサートではアンコール曲として披露しているといいます。

ピアノが友達

「友達と遊んだ記憶がないんです」と高濱さんは小学校時代を振り返ります。ピアノ教室を営んでいた母親の影響もあり、幼い頃から音楽に対する興味が強く、歌を聞くと踊り出すような子どもだったそうです。「音楽は楽しい遊びの一つでしたね」とその時の様子を振り返ります。

魅力は爽快感

「私はしっかり遊んでいましたよ」。屈託のない笑顔で話し始めた蓬萊さん。母親が保育士ということもあり、物心ついたときから家の中にピアノがあったといいます。ピアノを弾く母の姿を見て「楽しそう」と思ったが、そこまで興味はなかったと笑います。

ON AIR 誕生

「音楽の楽しさを広めたい」。それぞれ、大学院と専攻科を終え加西へ帰ってきました。時はコロナ禍真っ只中。演奏会の中止が続いている時期でした。しかし、これが2人を引き寄せる偶然のきっかけとなります。

ピアノと木製の四角い箱状の打楽器、カホン。静のピアノに動のカホン。時としてそれは逆にもなる。異色の楽器を奏でる女性2人組のユニットがオンエアです。地元加西を拠点に音楽の魅力を届ける高濱さんと蓬萊さんに演奏活動への思いと将来についてお伺いしました。

と、ピアノやダンス、バレエ、習字など多くの習い事をしました。「中途半端はいや。一つを極めよう」と思い、練習していき「一番苦じゃなかったというピアノ」を選び。その日から、土日や夏休みも関係なく、学校、習い事以外の限られた時間でピアノの練習に打ち込んだといいます。

「自分で音を生み出す爽快感が魅力」とピアノとは違う打楽器の楽しさにのめり込みました。中学校では吹奏楽部に所属し、夏のコンクールでは2年連続で金賞を受賞。学校始まって以来の快挙でした。

音楽の道を意識し始めたのは中学3年生の時。「打楽器は色々な奏法がある。様々な音色をたくさんの人に届けていきたい」とその理由を語りました。

プロを目指し、蓬萊さんも名門校に進学し、音楽に没頭する毎日を過ごします。